



# 町内会連合会だより

十和田市町内会連合会  
[ロゴマーク]

発行責任者 会長 升澤 博也

発行所

〒034-8615 十和田市西十二番町6-1  
十和田市町内会連合会

事務局

外郭団体事務室  
☎(51) 6783

## 会長あいさつ



十和田市町内会連合会  
会長 升澤 博也

### 支え合う町内会を 目指して

十和田市の町内会加入率は約60%です。「人口減少はさらに進み、高齢者の数はもう少しで高止まりをする。若い人達が少なくなっていくので、覚悟を決めないといけない」などと知事が話していましたが、行政だけでは安心安全で住みやすい十和田市は維持できないと思っております。

私たちは、自分の住んでいる地域を自分で守らないといけない。町内の清掃活動、ごみ収集箱の維持管理、地域の見守りなど、お互い助け合い協力し合い、住み続けたいと思える十和田市にするには、町内会が必要です。

最近、地震が非常に多くなっておりますが、災害はいつ起きるかわかりません。そして災害を止めることはできませんが、被害を最小限に食い止めることはできると思います。みんなが助け合う「共助」は、地域のつながりです。今は地域のつながりが薄れてきていると言われていますが、町内会にみんなが入って助け合いましょう！何かあったときは隣近所そして町内会です。協働のまちづくりは「顔の見える関係」です。

## 「#あおばな」県民対話集会

総務部会副部長 橋場 寛

町内会連合会肝入りの、宮下宗一郎知事との県民対話集会「#あおばな」が、令和6年9月28日（土）「とわふる」で開催されました。

先ず、升澤会長より「長年の熱い思い入れがあるの知事との対話集会が実現しました」との挨拶があり、和やかな雰囲気スタート、知事からは「町内会を対象とした対話集会は、初めてで楽しみです」と挨拶されました。

町内会連合会からは15名が参加し、参加者一人一人から「地域づくりと町内会の未来へ向けて」をテーマに思いを語ってもらいました。その都度知事はメモをとりながら、そしてうなずきながら、聞き入っていました。

全員の発言が終わると、一人一人の質問、提案、想いについてコメントしてくれました。

「町内会として多様な活動をされていることに、感銘を受けました。心から敬意を表したい」との

感想から始まり、なかでも吾郷町内会のお助け隊は理想的な姿だと褒めていただき、青森県全体に広がればいいと話されていました。

十和田湖については、青楓バイパスの完成後の構想、噴火の情報も加えてさらには、今後の県政の課題についても県民所得向上、後継者である子どもたちへの親・世間の傾向にも、改善策の一端を語ってくれました。

最後は、記念撮影の後、参加者全員と握手を交わして、終了しました。



対話集会の様子



# 部会の動き

## 総務部会 部会長 太田 薫

### 活動計画実践を目指して!!



年度始めに掲げた5項目の活動計画実践を目指してきました。重点目標「LINEの講習会」の実施は、理事全員の活用で連絡・通知等をLINEで進めることにより、通信費削減することはある程度実践することができました。役員も含めて全員活用を目指して引き続き取り組んでいきます。

昨年から延期になっておりました北里大学生徒と「LINEの使い方」についての講習会を4つのグループに分かれて教えていただきました。今では連絡を部会ごとのグループLINEで行っています。そして、「未来につなぐ地域づくりについて」の意見交換では、地域の方達の協力があって北里大学生も生活ができていると

思っているなど、みんなで協力し合ってつくるイベントがあれば参加したいと話してましたので、町連イベント委員会に繋がればと思っています。

また、防災運動会では、子ども達の親・若い世代の方たちに町内会に触れる機会に関心を持っていただき、少しでも加入促進に繋がればと思います。

その他、「町内会連合だより」の2回発行は予定通りでき、また「加入促進キャンペーン」の実施についてはチラシ、ポスター配布で（希望町内会）啓蒙活動ができました。



北里大学生との意見交換のようす

## 交通安全福祉部会 部会長 和田 好暁

### 皆様のご協力に感謝!!



今年度は、交通安全のぼり旗の増強や新入生学童への交通安全指導、さらに信号機のない横断歩道における歩行者優先意識の徹底と自転車のヘルメット着用率の向上を重点に交通安全関係団体の各種会議で情報共有を行いました。

また、交通安全協会の「サンタでトライライト作戦」や「冬の交通安全県民運動」に参加し、夕暮れ時の車のライト早め点灯や飲酒運転防止の呼びかけを実施しました。

さらに交通安全母の会の「高齢者世帯訪問事業」に同行して反射材の配付や交通事故への注

意喚起を行ってきましたが、長年のこれらの活動が評価され、令和6年度の交通安全青森県民大会において、「交通安全団体功労賞」を受賞できたことは、ひとえに関係団体のご支援、ご協力のおかげと感謝申し上げます。

今後さらに、交通安全関係団体との連携を密にして、交通事故防止活動に取り組んでいきたいと思っています。



のぼり旗設置のようす

## 防災安全部会 部会長 土嶺 俊夫

### スキルと知識の習得



地域密着型防災訓練は今回で4回目となり、9月1日（日）に旧十和田湖町の新川原町内会で実施いたしました。

103世帯・81名の方達は歩いて避難経路を確認しながら避難してきました。安否確認をし、屋外での消火訓練、車椅子を使用し車へ乗せる訓練、

ガス発電機の手動訓練、赤十字奉仕団によるハイゼックス炊飯袋での炊出し訓練が行われました。

屋内ではスモーク訓練、段ボールベットの組立てを実際に体験してもらい、地震についてや火災から命を守る方法などの講話を防災危機管理室と消防本部の方から聞くことができたので、大変勉強になったと参加者からの声がありました。

最後は、炊出し訓練のカレーを試食し、新川原町内会の和田会長による抽選会があり盛り上がった一日でした。



11月25日(月)「火災について」の研修会では

- ・1階で火が発生したけむりは、ほのおで熱せられてあつという間に上のほうへいくので、火災警報器は連動式がおススメ!
- ・火が発生して2階から降りれないときの避難方法の確認!
- ・火災警報器の電池確認!
- ・線香でなぜ火が発生するのか!
- ・旅行に行ったらホテルの避難経路の確認!

消防車の到着時間は、約8分ぐらいなので初

期消火は大切ですが、一番はあなたの命が大事です!!大変勉強になりましたので、単位町内会でもぜひ受講をおススメいたします。



赤十字奉仕団による炊き出し袋の説明

## 環境衛生部会 部会長 成田 誠

### 今年度の活動を振り返る

今年の花苗は、サルビアの生育が良くなく代替えとしてマリーゴールド(オレンジ)を配布しました。配布は申し込みハガキの番号順に花苗を並べ1時間で順調に終わることができました。温暖化などの影響もあり計画通り行かない場合もありますが、なるべく希望に沿った花苗を配布して行ければと思っております。

ゴミ収集箱の助成は、この2年程度で予算を多くいただき新設・修繕も進み、今年は予算内で収まりました。今後も3~5年の将来計画を立て、ゴミ収集箱の長期使用に繋がれば幸いです。

す。そのためにも先ず単位町内会で申し込みをして審査を受けてください。

3年目となりました「まちなかクリーン作戦」は、ポスターの見直しから検討し、作戦当時は小雨の中、ゴミ拾いと草取りを2時間で終わり各班とも駒っこ広場に戻ることができました。まちをキレイにすると機運が高まります。今後は商店街主体のクリーン作戦になることを願っております。



花苗配布のようす

## 町内会と地域コミュニティについて

南小稲町内会長 大西 良雄

南小学区17町内会(約4,400世帯)、南小及びPTA、十和田中・三本木中で構成され地域コミュニティ組織、南地区コミュニティ推進協議会(以下、「コミ協」と南地区体育振興会(以下、「南体振」)があり、町内会長を中心に各組織の特徴を生かした活動を展開しています。

コミ協の主な事業

- (1) 子どもの夏まつり(7月・2日間午前中)
- (2) 南地区納涼パーティ(7月)
- (3) 南コミュニティセンター(以下、「コミセン」)祭り(10月、2日間)
- (4) 全国一斉あいさつ運動及び防犯パトロール
- (5) 南コミセン指定管理運営業務 など



子どもの夏まつり スイカ割り

南体振の主な事業

- (1) 南地区大運動会(9月)
- (2) 市民総合体育大会全種目参加(本年総合優勝)
- (3) ゲートボール・グランド及びパークゴルフ各大会
- (4) 新春顔合わせ会(1月・南コミ協合同) など



また、各町内会では、夕涼み会・有償ボランティアハロウィン・もちつき大会・避難訓練・サロン等を実施していますが、単独では人員及び予算の関係で事業実施が困難な町内会もあります。

今後、南地区では人口の急激な減少等を踏まえ、スクールコミュニティ及び福祉コミュニティ等に配慮した事業を関係機関と連携し実施していきたいと考えています。



## 市と町内会との懇談会

総務部会長 太田 薫

市町連では「みんなで創る地域の底力」を目的とし、町内会加入促進の重点課題と組織強化に向けて取り組んでおります。

懇談会は、市への要望事項を含めて市政全般に対して市長、部・課長との自由な意見交換の場として大切な事業の一つです。

開催日時及び開催場所は、例年通り18:00から次の4会場で開催しました。

- ・8月20日(火) 東コミュニティセンター  
三小・東小・高清水小学区
- ・8月22日(木) 市役所別館5F  
西小・深持小・北園小・ちとせ小・大深内小学区
- ・8月26日(月) 南コミュニティセンター  
南小・藤坂小・四和小学区
- ・8月28日(水) 西コミュニティセンター  
沢田小・法奥小・十和田湖小

全体的には各会場とも、小山田市長からの「空き家対策」「ごみの減量について」話しのあと意見交換があり、次に町



内会要望も含めた市政全般について部・課長と意見を交わしました。会場からは有意義な意見等がありましたが、この懇談会開催が市民に伝わっていないので参加が少ないとの意見に対し、広報・ポスターなど、各町内会長に2回案内をしており市長、部・課長がそれぞれ丁寧に応えていました。(沢山ある内容から一部分の紹介)

今後の懇談会の方向性として、「市長のお話し」については、市町連からのテーマと市長の自由な話すと2項目にすることが提案され、総務、三役会等で検討して行きます。

## 防災運動会

今年で2年目になる防災運動会は、町内会への加入が全国的に減少傾向にあり、当市においても同様の傾向が見られることから、少しでも町内会と触れる機会を設けるために小学校の学年レクリエーションとタイアップして防災運動会を実施しました。

10月26日(土) 13:15から北園小学校4年生親子レク「防災運動会」は、自分の住んでいる町内会を知ってもらうために、赤・青・黄の3つの町内会エリアに分かれてチームを組み、競技を行いました。

また、近所の親子で助け合いながら防災運動会をすることも「共助」に繋がることや町内会があるからきれいなまちに住めるなど町内会連合会のイベント委員会 服部さんからお話がありました。

11月2日(土) 9:00から南小学校5年生親子レク「防災運動会」では、消防本部の米田さんから「1つ1つの競技にはメッセージを込めて企画し、防災に関する知識

や知恵を身につけ、自分で助かる・他人を助けることの大切さを知って欲しい」とお話がありました。

そして、太田部会長より「地域とのつながり」を大切にすることで、同じ地域に住む人同士の絆を深め、自分たちの住む地域を自分たちの手で住みよい快適なまちづくりを行っていくのが町内会であることや少しでも町内会に興味を持っていただければ幸いですねと伝えておりました。

少しずつ町内会のつながりを広めていきたいと考えておりますので、来年度一緒に防災運動会を行いたい学校関係者、皆様のご連絡をお待ちしております。



## 加入促進ポスター



詳しくは外郭団体事務室まで

## 編集後記

今年度より町連だより編集委員になり、右も左も分らないままこの度、編集後記を寄稿することになりました。

私は10年前、転勤族の仕事を終えUターンしてきた元十和田っ子です。

時々帰省していましたが、久しく十和田を留守にしていたので十和田の状況が分からず苦慮していたそんな時、偶然「町内会連合だより」が茶の間にありいろんな情報を知ることができました。「だより」がただ、そこにあってだけなのです。刊行物は偉大です。皆さんもそこにある「町内会連合だより」を見て、みてください。文：柴田 隆志



編集委員